

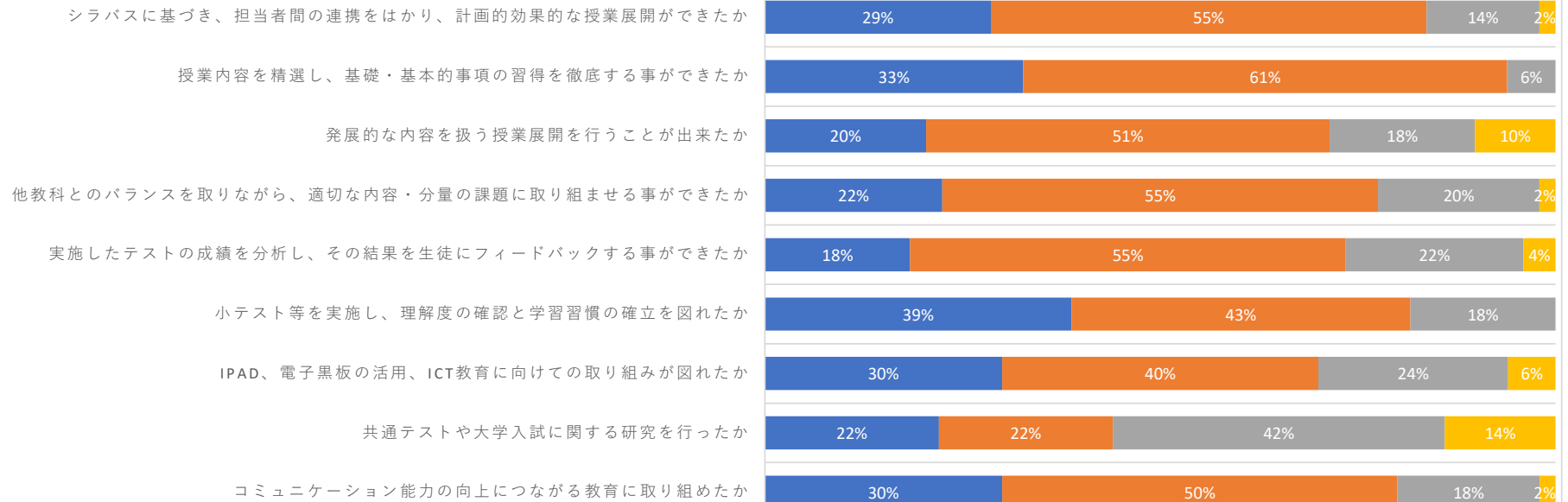
令和6(2024)年度 三田松聖高等学校・学校評価シート

学 校 教 育 目 標	＜基本方針＞	
	校訓「不撓不屈、和敬協調、自律自学」の信念のもと、心身を錬磨し、優れた英知と豊かな情操を備えた、清く正しく強い、社会貢献のできる青少年を育成する。	
	1.	「知・徳・体」の調和のとれた人格形成と育成を図り、生徒が生き生き・伸び伸びと活動する活発な学校づくりを推進する。
	2.	個に応じた教育活動を展開し、基礎・基本を確実に定着させ、生徒自ら主体的に判断し行動できる資質や能力の向上を推進する。
	3.	家庭や地域との密接な連携を図ることにより、社会から信頼される学校、魅力ある学校づくりを推進する。

重 点 目 標	＜学校経営の重点＞	
	「教育は人なり」である。生徒に「生きる力と学ぶ力」を身につけさせるため、熱意ある教育実践と真摯なる研修を積み重ねる教師集団づくりを図り、生徒との信頼関係を構築し、学校のさらなる発展を目指す。	
	1.	教員とその組織の充実
		・教員の資質及び指導力向上
		・校務分掌の組織編成と役割分担の適正化
		・教員のコンプライアンス強化
	2.	学習環境と教育内容の充実
		・個別最適化指導の取り組み
		・ICT教育の推進・情報教室の整備推進
		・能動型学習法の推進
		・図書室を有効活用し、生徒の学習意欲向上の推進
	3.	進路の充実
		・高大接続による「大学入試制度改革」への対策と検討
		・生徒の目標達成の支援
		・特別進学・大学進学コースでの「学力向上講座」の実施
		・進路実現に向けた「自己発見プログラム」の推進
		・短大・高校・幼稚園の学園連携である保育者育成プロジェクト「保育探究クラス」の推進
	4.	部活動の充実
		・強化指定部の活性化
		・各部の活性化
		・挨拶やマナーの向上、帰属意識の高揚、人間関係の構築、人格形成

学習指導に関連する自己評価

■よくできた ■だいたいできた ■あまりできなかった ■全くできなかった



次年度への課題と改善策

- ・基礎学力の定着と学力の向上に向けて、学校全体で取り組んでいく。
- ・家庭との密な連携と情報共有を通して、多様な生徒への学習支援や適切な対応に努める。
- ・教科間の情報共有や連携力を向上させ、主体的な学びを実現する授業展開を図る。
- ・生徒一人ひとりの学習意欲を高め、学習習慣を確立させる。
- ・iPadを積極的に取り入れながら生徒が主体的に学習に取り組む指導をする。
- ・生徒と信頼関係を築き学習環境を整え、学習指導の一層の充実を図る。

学校関係者評価

- ・生徒個々へのきめ細やかな配慮はなされており、引き続き、学校全体で共通認識を持ち進めていくと良い。
- ・情報伝達ツールが活性化しているが、対面でのコミュニケーション手段の重要性を伝えていただきたい。
- ・授業開始前のアイスブレイクでクラスの雰囲気が和らぎ、学習意欲の向上に繋がる展開を期待する。
- ・何のための学習かを明確にし、生徒がやる意味を見出せるよう導いていただきたい。
- ・各コースの卒業生の意見を聞くことで、改善課題も見えてくると考える。

進路指導に関する自己評価

■よくできた ■だいたいできた ■あまりできなかった ■全くできなかった

キャリア教育の指導ができたか

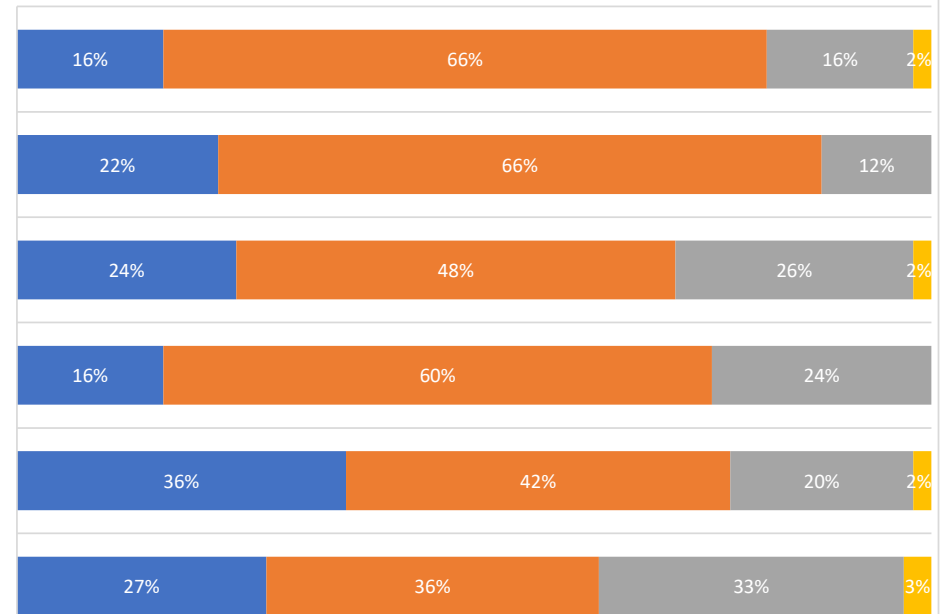
進路意識の向上をはかる指導ができたか

自己の適性等を理解し、進路目標を持たせる指導ができたか

進路実現に必要な（自主・自立性、基礎学力・表現力）を身につけさせることができたか

自ら進路選択ができるよう、進路に関する情報や機会を活用させることができたか

生徒の進路目標が実現できるよう、保護者と連携することができたか



次年度への課題と改善策

- ・1年生で進路目標を設定し自己の将来設計を考えさせ、三年間を見据えた計画を作成し継続的に指導する。
- ・面談や進路調査により、一人ひとりの希望や適性を見極めて指導することで生徒の意識を明確にする。
- ・講座や補講による進路に対応した学力の向上を図る。
- ・外部講師の講演や情報発信を通じて進路意識を高めていく。
- ・保護者と連携して生徒の個性や将来の展望を尊重し、多様な進路選択支援ができる環境を整える。
- ・進路指導上必要な情報の収集、提供を的確に行う。

学校関係者評価

- ・進路は多種多様である。多くの選択肢があることを説明し、将来プラスになるよう導いていただきたい。
- ・学校での授業や幅広い活動が進路や職業選択において重要な指針になると考える。
- ・生徒の将来への意志を3年間で培っていただきたい。
- ・進路と向き合う生徒を様々な取り組みでのサポートを期待する。
- ・生徒と保護者、地域と連携を取りながら、卒業後の進路までのサポート充実を図っていただきたい。

生徒指導に関連する自己評価

■よくできた ■だいたいできた ■あまりできなかった ■全くできなかった

クラス状況など、学級・学年通信等を利用して情報発信する事ができたか

頭髮指導・服装指導など十分に行うことができたか

SNSを含め、誹謗・中傷、いじめに関する問題に取り組むことができたか

生徒会活動を通じて、生徒の自立・実践の精神を養うことができたか

生徒会活動の活性化をはかる指導ができたか

公共マナー・交通安全マナー等、道徳教育を行うことができたか

規律ある学校生活の確立に向けた指導ができたか

生徒との信頼関係の構築をはかることができたか

部活動を通した心の育成ができたか

部活指導の過程・成果に満足しているか

ホームルーム活動を通じての心の育成ができたか

生徒の健康状態を把握し、健康安全に過ごせるように指導できたか

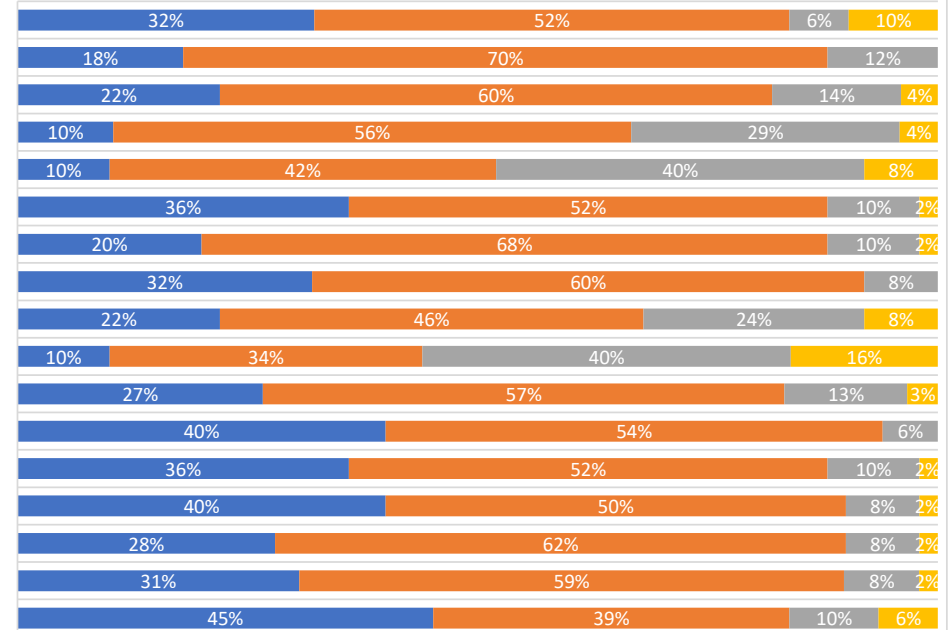
緊急を要する生徒の事故・体調急変等について適切な対応が出来たか

校舎内外の美化と設備・備品点検を的確に行えたか

防災安全指導をはかることができたか

担当区域などの安全点検を行い、安全管理をはかることができたか

個人面談・保護者懇談等を実施することができたか



次年度への課題と改善策

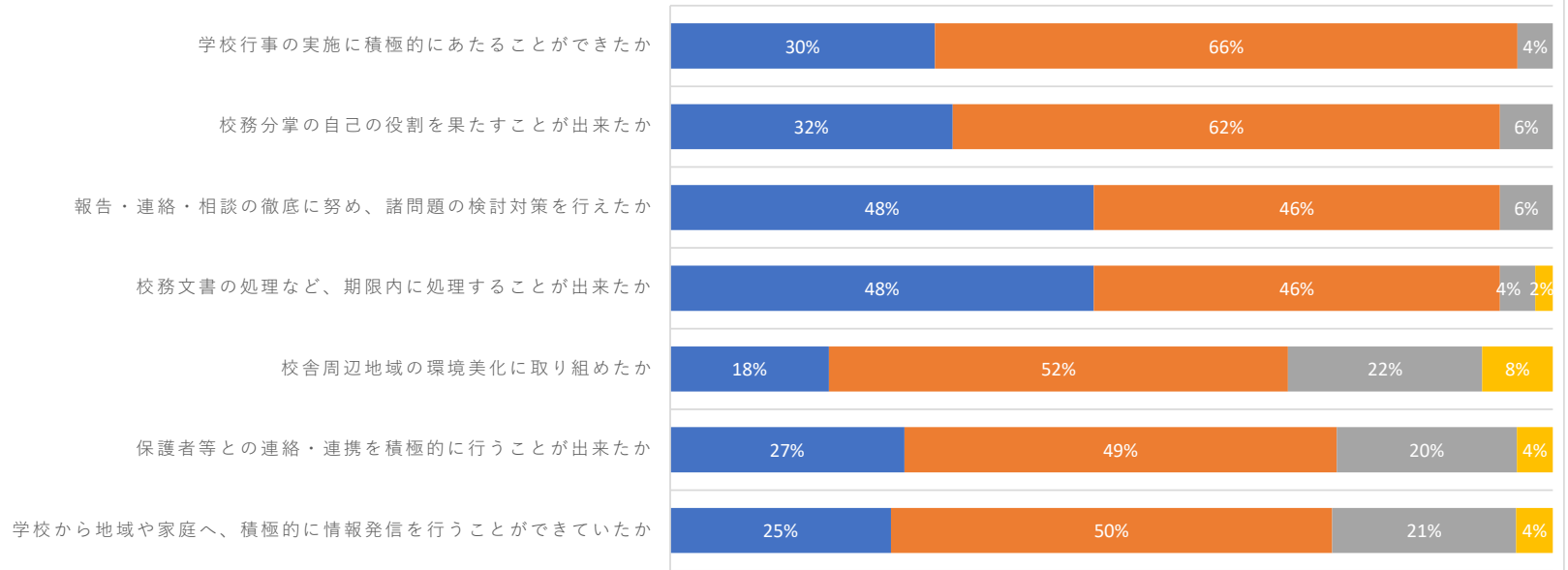
- ・服装等の基準やルールの遵守とその指導の在り方を教員間で統一する。
- ・基本的な生活習慣の定着とマナーの向上を図る。
- ・学年団、教科担当等の生徒情報の共有と生徒指導部との連携を強化する。
- ・生徒の些細な変化を見逃さないよう、生徒とのコミュニケーション を大切にする。
- ・指導のラインをしっかりと示しつつ、生徒に寄り添い信頼関係を築く。
- ・学校での集団生活を通して、社会性や協調性、対人関係能力が高まるように導く。
- ・三者面談や情報発信を通して、家庭・学校相互の情報提供を増やし保護者の協力体制を得る。
- ・新しい時代を生き抜く人材を育成するために、教員の資質向上につながる研修会を適宜行う。

学校関係者評価

- ・公共の場でのマナー、ルールは守られているが、地元・地域から指摘を受けないような取り組みは必要である。
- ・地域活動が増えることで、生徒は周囲から見られていることを意識し、マナー向上が期待できる。
- ・生徒が学校生活に順応できる仕組みは大切である。保護者と連携し整えていただきたい。
- ・学校や生徒の雰囲気が変わってきたと思う。引き続き、安心・安全な環境作りに努めていただきたい。
- ・高校生活にビジネスの視点での学びの要素を取り入れ、ビジネスマナーを実践的に学ばせることでビジネス視点からの思考力が育まれ、校則やルール遵守に繋がる。

総務的なことに関する自己評価

■よくできた ■だいたいできた ■あまりできなかった ■全くできなかった



次年度への課題と改善策

- ・情報を取り入れ、積極的に社会変化に対応した教育システムを構築する。
- ・地域主催の行事に参加とともに運営協力をし地域との交流を深める。
- ・地域への授業公開、文化祭公開等を通して地域から信頼される学校を目指す。
- ・学校行事は事前準備や教職員間での情報共有を徹底し、円滑に運営する。
- ・学校ホームページと情報発信の充実と開かれた学校への体制づくりを行う。
- ・効果的な学校行事になるよう常に再考し、活動内容を工夫する。
- ・校務遂行に当たっては業務を計画的に適切に実施できるようマニュアル作成を行う。

学校関係者評価

- ・実際に来校すると、生徒の生き活きた姿をみることができ、挨拶もできる、日頃からの指導の様子がうかがえる。引き続き頑張ってください。
- ・地域の方との連携を強化し、学校に招いていくことで活性化に繋がる。
- ・学校行事や地域との交流は重要だが、教職員の負担が増すことは推測される。調整しながらの実施を期待する。
- ・学校と保護者の連携は、生徒の学習等の成長において重要となる。連絡ツールやHPで情報を発信し共有していただきたい。